

実践タイトル

ビデオ映像や絵を見て関心・意欲を高める

主に活用したICT機器・教材・コンテンツ等とそのねらい

実物投影機

・生徒のワークシートを大きく映して、画面に注目させて発表させる。

動画

・具体的な映像資料を見ることで、イメージをクラス全体で共有し、思考を促す。

参考にしてほしいポイント

- ・身近な場面を想起させる方法として、ビデオ撮影した動画を使った。指導者のよく行くガソリンスタンドで働いている様子を撮影し、授業のねらいに迫るインタビューを収録した。ビデオ映像を見ることで関心・意欲を高め、考える方向性を焦点化させた。
- ・生徒自身が書いたワークシートを大きく映して、具体的な発表ができるようにした。

本時の展開(主な学習活動)

学習の流れ(分)	主な学習活動	ICT機器・教材、コンテンツ等
導入 0 10	・ガソリンスタンドに行ったときの様子を話し、導入とする。 ・大画面テレビに注目させ、ビデオ映像を視聴し学習目標をつかむ。	・ビデオデッキ ・大画面テレビ ・ガソリンスタンドの様子を撮影したDVD(写真1)
展開 10 40	・ガソリンスタンドをイメージしたイラストを配り、ともなって変わる量を探す。 ・探し出した関係を、「〇〇が変わるとき、△△が変わる。」という表現にまとめる。 ・自分のワークシートをもとに、発表する。	・発表時に実物投影機を使い、自分がまとめたワークシートを紹介しながら発表させる(写真2・3)。 ・カードに数量を書く。
まとめ 40 50	・発表されたことをもとに、ともなって変わる量について整理する。 ・既習の正比例の関係ではないものも含まれていることを確認する。 ・関数の定義について紹介し、まとめる。	・黒板に貼られたカード



写真1: ガソリンスタンドの様子を映した映像



写真2: 発見した関数を発表



写真3: ワークシートを大きく映し、発表の補助とした

ICT活用への児童生徒の反応等

- ・実際の映像を見ることで、ガソリンスタンドのイメージを生徒全員で共有することができた。
- ・大画面テレビの映像を集中してみる事ができた。
- ・生徒から、「働く時間」が変われば「給料」が変わる。「給料」は「働く時間」の関数である。「ガソリンの量」が変われば「走行距離」が変わる。「走行距離」は「ガソリンの量」の関数であるとの理解が得られた。

活用効果

評価の観点	・数学への関心・意欲・態度	具体的変容	・どんなことを考えていくのかをはっきりつかませることができた。 思考活動へスムーズに移ることができた。 ・ワークシートをもとに、具体的な数値で発表することができた。
-------	---------------	-------	--

実践の手応え

- ・ビデオ撮影した動画を使うことで関心・意欲を高め、考える方向性を焦点化でき、関心意欲を高めることができた。
- ・生徒自身が書いたワークシートを大きく映して、具体的な発表ができた。